

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
令和4年度事業点検・評価調書

5-Ⅱ-6

5-Ⅱ-6

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	佐渡特産品の販路拡大
節	Ⅱ. 伝統文化・地場産業の振興	事業主体	佐渡市産業振興課
事業(施策)名	6 佐渡特産品の販路拡大	関連団体	佐渡地域振興局農林水産振興部、佐渡市農林水産課、佐渡市農業政策課、佐渡連合商工会
事業実施期間	H28～R6		
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 佐渡金銀山ブランドを活用した販売戦略により、高付加価値化を推進し、佐渡産品の販路拡大を図り、地場産業の振興を行う。</li> </ul> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 佐渡金銀山PRと連携し、佐渡産品のブランド価値を高め、情報発信・展示・販売を積極的に行い、佐渡産品の販路拡大を図る。</li> </ul> <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 佐渡産品(一次・二次産品、工芸品)と観光、芸能等を組み合わせたクロスボーダーやDX活用でプロモーションやブランディングサポートを実施し、島内外での販路拡大を図る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税における新規商品300品目</li> <li>・百貨店等での取扱量拡大</li> </ul> </li> </ul>		
これまでの取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ サドメシラン認定店の認定店舗数拡大にあわせ、佐渡産食材の販路拡大を図り、令和3年度まで活動を展開してきた。島外においては、各種イベント時にタイアップしながら、物販を行い、令和3年度からは、佐渡まるしえを活用し、島内外の消費者へアピール、販売している。金山の坑道を活用した追熟・貯蔵により、金山ルレクチェとして高単価での販売を行うほか、金山みかんについても有利販売につなげるため、実証した。</li> </ul>		
事業計画と実績	<p>【R4年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 首都圏等の百貨店を活用したフェアやイベントとタイアップし佐渡産品のPRを図る。</li> <li>● 佐渡産品のポータルサイトをリニューアルし、金山関連の特設ページを立ち上げる。ふるさと納税の返礼品アイテムとして金山関連商品を紹介し、露出機会と販売チャネルを拡大する。</li> </ul> <p>【R4年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新潟三越伊勢丹や無印良品、東武百貨店を会場に佐渡産品販売フェアを実施した。また、佐渡産品ポータルサイトのリニューアルと共に、金山関連の特設ページを構築した。</li> </ul>		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ フェア実施後の常設販売へのつながりが少ない。</li> </ul> <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 県内百貨店や首都圏への販路拡大に向けた商品ブランディングの支援や、フェア終了後にフォローアップを実施するなど販路拡大に向けた取り組みを行う。</li> </ul>		
事業評価	<p>【ゴールに対するR4末の達成度】 ◇ 首都圏百貨店で佐渡産品販売フェアを実施できたことは、PRの観点から見れば効果はあったと考えるが、少量多品目の佐渡産品をいかにして販路構築・拡大するかが重要である。サドメシラン認定店へのヒアリングを実施したことで多くの課題が見えてきているため、今後は、その課題解決に向けた取り組みが必要である。</p> <p>[ A ・ (B) ・ C ]</p>		

A: 予定を上回る進捗  
B: 概ね予定どおり  
C: 遅れている。